

平成24年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）第1回技術実証検討会 議事概要（案）

■ 開催日時・場所

日時：平成24年5月24日（木）14:00～16:00

場所：弘済会館4階「蘭（西）」会議室

■ 出席者（検討員）

藤井座長、足永委員、大岡委員、神山委員、関根委員、花崎委員、（委員は五十音順）

■ 議事

1. 技術実証検討会の設置について
2. 平成24年度事業の実施計画について
3. 実証対象技術の募集について
4. その他

■ 配布資料

資料1 環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野（地中熱・下水等を利用したヒートポンプ空調システム）の事業実施体制

資料2-1 平成24年度事業の実施計画

資料2-2 実証試験要領（平成24年3月30日付）

資料3-1 実証対象技術の募集について

資料3-2 公募要領（案）

■ 検討内容

1. 技術実証検討会の設置について
 - ・資料1に基づき、事務局より事業実施体制について説明された。
2. 平成24年度事業の実施計画について
 - ・資料2に基づき、実証機関より実施計画について説明された。
 - ・実証対象技術の募集は、実証単位(B)、(C)は試験時期の制約はないので、応募件数が少ない場合は追加募集をすることが説明された。
 - ・実証対象技術の応募件数を増やす方法について議論された。特に手数料を安くすることとETVの価値を高めることが議論された。

- ・実証試験要領改定の検討課題について議論された。
 - ・本技術分野では技術が多様化しているが、実証試験要領に多様な技術の試験方法をあらかじめ定めることはせず、申請された実証対象技術の実情に応じて最適な試験方法を検討して試験を実施するべきとの意見があった。
 - ・実証単位(A)で実証試験の結果算出される APF は、省エネ法の省エネ基準で使用されている APF とは内容が異なり、同じ用語では誤解を招くので、ETV では名称を適切に変更することが議論された。
 - ・平成 24 年度事業の実施計画は承認された。
3. 実証対象技術の募集について
- ・資料 3 に基づき、実証対象技術の募集の計画について、実証機関から説明があった。
 - ・実証対象技術の募集の計画は承認された。
4. その他
- ・技術実証検討会のスケジュール案について、実証機関から説明があった。

以上